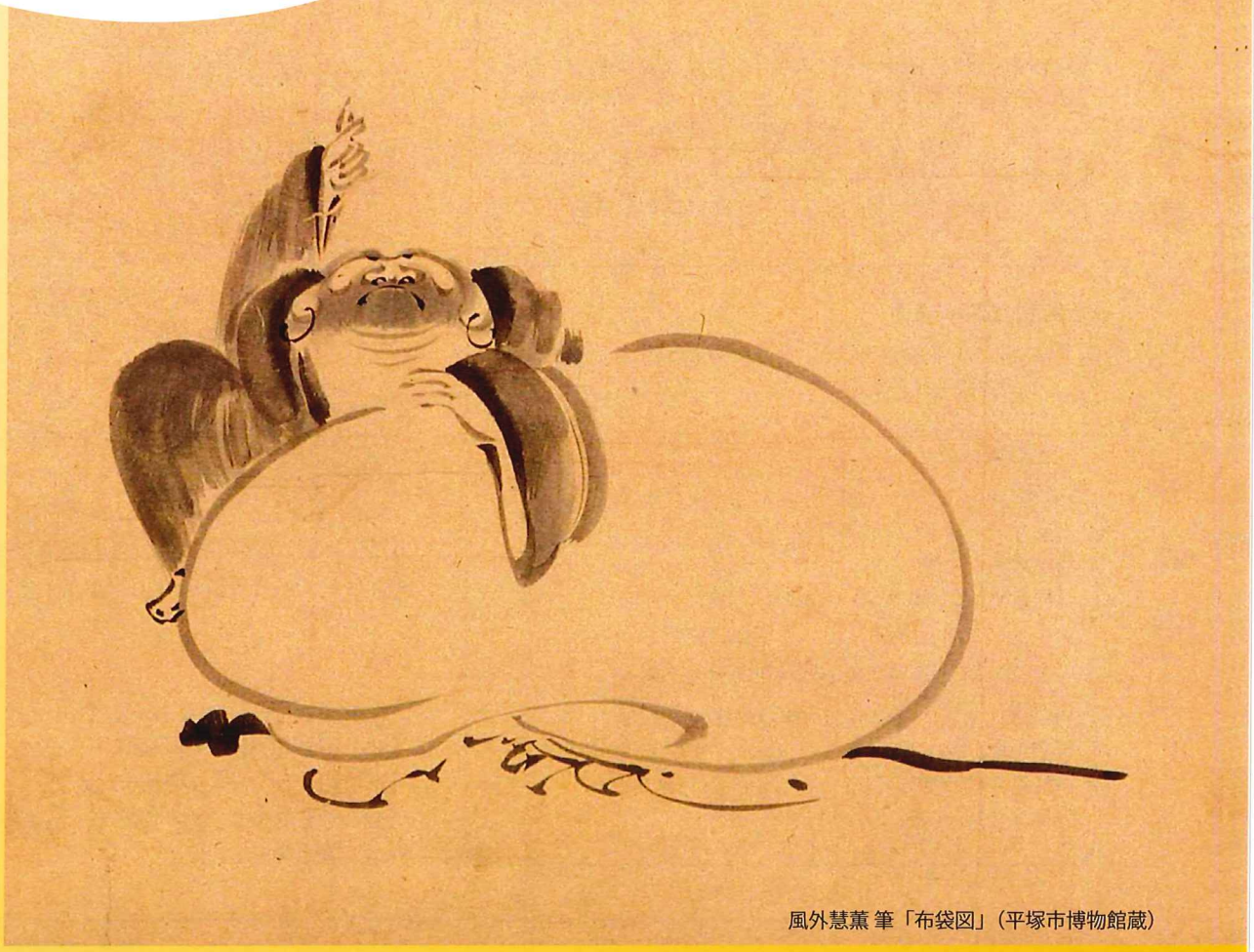
特別展

生誕450年記念

風外慧薫

ー洞窟暮らしの禅画僧ー

2018年10月20日(土)
ー 11月25日(日)



風外慧薫 筆「布袋図」(平塚市博物館蔵)

【開館時間】 午前9時ー午後5時(入館は午後4時30分まで)
【観 覧 料】 一般500円(400円)
＊( )内は団体料金(20名以上)
＊高校生以下、小田原市福寿カード提示のかた、
障がい者手帳をお持ちのかたとその介護者のかた1名は無料

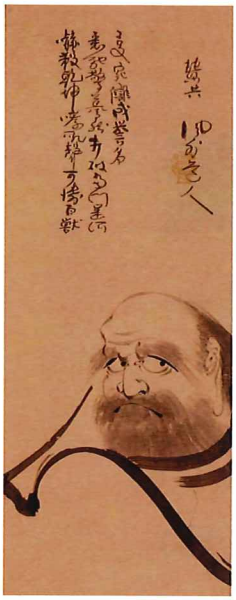
松永記念館

生誕450年記念 風外慧薫 ―洞窟暮らしの禅画僧―

禅僧・風外慧薫は、永禄 11 年（1568）に上州土塩（現・群馬県安中市）で生まれ、幼少の頃からお寺に預けられます。若くして出家し各地で修業。50 代には小田原市内の成願寺の住職になります。しかし喧騒を嫌った風外は、上曽我や国府津地区の洞窟に住み、達磨、布袋などの禅画を描きました。小田原で 10 年、真鶴で 20 年ほど過ごした後、80 代で遠州金指（現・静岡県浜松市）へ移り住み、この地で穴に入って生き仏となったと伝えられています。

風外の作品は、江戸時代後期に流行する「ゆるくてかわいい」禅画として国内外で注目されています。「マネジメントの父」と呼ばれ、日本美術愛好家でもあったピーター・ドラッカーが最初に求めた禅画としても有名です。

風外慧薫生誕 450 年を期して開催する本展では、風外ゆかりの史跡や小田原・真鶴で伝えられている伝承などから足跡をたどるとともに、風外が描いた水墨画や墨蹟から、禅僧としての人物像を紐解きます。



風外慧薫筆「達磨図」
（平塚市博物館蔵）

田島の風外窟（小田原市・曽我山山中）

【開館時間】午前９時～午後５時（入館は午後４時 30 分まで）
【観 覧 料】一般 500 円（400 円）＊（ ）は団体料金（20 名以上）
＊高校生以下、小田原市福寿カード提示のかた、
障がい者手帳をお持ちのかたとその介護者のかた（1 名）は無料
【主　　催】小田原市郷土文化館
【協　　力】曹洞宗禅文化の会／真鶴町教育委員会

関連展示のご案内

風外ゆかりの真鶴町でも、関連の展示を予定しています。この機会にぜひご覧ください。

風外展

真鶴町民センター（真鶴町岩 172-8　2 階）
【会　期】2018 年 11 月 5 日（月）～12 月 24 日（月）
【観覧料】無料
【問合せ】0465－68－1131（代表）

中川一政と禅 ―奇僧風外慧薫の世界とともに―

真鶴町立中川一政美術館（真鶴町真鶴 1178-1）
【会　期】2019 年 1 月 4 日（金）～3 月 26 日（火）
【観覧料】一般 600 円　高校生以下 350 円
【問合せ】0465－68－1128（代表）

関連イベント

申込みは小田原市郷土文化館まで電話にて
TEL0465(23)1377

10 月 28 日（日）
生誕 450 年　風外慧薫　特別講演会
「アウトサイダーの禅僧・穴（あな）風外」

あるときはお寺に入り、あるときは穴に暮らした風外さん。その自由奔放な生き様が禅味あふれる画を生み出しました。今回は仏教史の視点から風外さんについてお話をいただきます。

【時　間】13:00 ～ 14:00
【講　師】安藤嘉則さん（駒沢女子大学教授）
【定　員】60 名〔※要事前申込み・先着順・9 月 10 日(月)から受付〕
【会　場】香林寺・本堂（小田原市板橋 908）
【参加費】無料

11 月 3 日（祝・土）/ 11 月 12 日（月）
ギャラリートーク

展示の見どころを担当学芸員が解説します。

【時　間】11:00 ～ 11:40
【定　員】20 名〔※要事前申込み・先着順・9 月 10 日(月)から受付〕
【会　場】松永記念館　本館・別館展示室
【その他】参加費は無料ですが、観覧券が必要です。

11 月 9 日（金）
ミュージアムリレー第 254 走

展示と老欅荘（登録有形文化財）の見どころを担当学芸員が解説付きでご案内します。

【時　間】13:30 ～ 15:30
【定　員】20 名〔※要事前申込み・先着順・10 月 10 日(水)から受付〕
【会　場】松永記念館 本館・別館展示室／老欅荘
【その他】参加費は無料ですが、観覧券が必要です。

11 月 17 日（土）
郷土探究会「風外ゆかりの史跡を巡る」

小田原市内に残る風外窟や真鶴町のゆかりの史跡を解説付きで巡ります。〔※要事前申込み・先着順・10 月 10 日(水)から受付〕

【講　師】野地芳男さん（風外慧薫研究家）
※時間、定員等詳細はお問合せください。

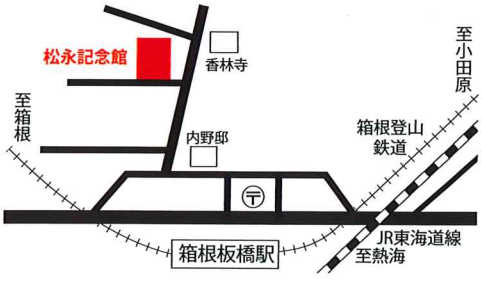
庭園呈茶

10 月 20 日（土）/ 11 月 10 日（土）
【時　間】10:00 ～ 15:00
【一　服】300 円（茶菓子付き）
【会　場】松永記念館 葉雨庵・烏薬亭
【呈　茶】風韻の会

葉雨庵

小田原市郷土文化館分館
松 永 記 念 館
〒250-0034 神奈川県小田原市板橋 941-1
TEL0465(22)3635

【電車】箱根登山線「箱根板橋駅」より徒歩 10 分
【バス】小田原駅東口　箱根登山バス H・T 線 乗車「上板橋」下車徒歩 6 分 /「板橋」下車徒歩 10 分



松永記念館は、「電力王」と呼ばれた実業家で、茶人としても高名な松永安左エ門が、昭和 34 年（1959）に設立したものです。松永の没後、小田原市に寄贈され、現在は四季折々の草花が楽しめる庭園（日本の歴史公園 100 選）や、松永が晩年を過ごした居宅「老欅荘」（登録有形文化財）とともに一般に公開しています。